

3日目

各大学プレゼンテーション・グループワーク

最終日は、グループワーク・ディスカッションで議論を深めた成果を発表しました。

学生は異なる文化を持つからこそ、互いに気づきや刺激となり、それぞれの地域の特徴について理解を深めることができました。グループ発表では、それぞれのグループごとに異なる視点・観点から「食と観光」の連携により期待される地域活性化に向けた様々なアイデアが披露されました。

最後は、松本大学の尻無浜副学長より、グループごとに講評をいただき、3日間の行程を終了しました。



『各地域での食文化の違い』



『各地域が食と観光を通じて魅力を伝えるために、大学生ができること』



『観光で食を楽しむために～観光客が楽しむには食べ歩きかお店で楽しむか～』



『食をメインとした観光スタイルを持続化させるためには何ができるか』

市内巡見

発表終了後は、グループごとに市内巡見を行いました。事前にグループごとでルートを決め、北海道の観光資源を実際に見て、触れることで、知識だけではなく、経験として知見を深めることができました。

時計台



JRタワー



オータムフェスト



札幌大学
SAPPORO UNIVERSITY



【札幌大学学生代表】

経済学専攻4年 武蔵 奏多さん

コロナの影響により、対面での交流が少なくなってきた中で、今回の取組を札幌大学で実施するとともに、他大学の学生と交流を深めることができ良かったです。グループリーダーとしての難しさや経験の浅さを痛感しましたが、今回、得た経験や知識を今後の大学・社会人生活に活かしていきたいです。

【鹿児島国際大学学生代表】

国際文化学科3年 早田 篤広さん

それぞれが持つ文化によって、考えや視点が異なり、面白い交流となりました。この経験を活かし、自分が住む地域を活性化させるためのヒントにしていきたいです。また、実際に、北海道の観光資源を見て、触れることができ良かったです。特に、エスコンフィールド北海道で野球観戦が出来たのは一生の思い出です！



松本大学

【松本大学学生代表】

学校教育学科3年 清水 大輔さん

本取組を通じ、三大学の学生間で交流を深めるとともに、「食と観光」について、互いの地域の特徴を活かした良い話し合いができました。アイヌ文化やオータムフェストなど、北海道の文化に触れることで、とてもよい経験・学びになりました。今回議論した内容を現実的に実践するため、今後も継続的に交流していきたいです。

